

2022年3月7日

筑波大学附属病院 脳卒中科に入院中の患者様およびご家族の方へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた患者様の情報・記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】 R01-216「脳卒中データベース研究」に登録されている、2017年4月1日～2023年3月31日の間に、急性期脳血管障害（発症から1週間以内の脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）で入院し、高血圧性脳出血と診断され、院時に頭部CT検査が施行され、20日以内に脳MRIが行われたすべての方。

【研究課題名】 高血圧性脳出血における遠隔微小DWI高信号病変に関連する因子に関する研究

【研究代表者】 筑波大学医学医療系 脳卒中予防治療学講座 早川 幹人

【目的】 R-DWILsが関連する因子を明らかにするため、高血圧性脳出血患者における頻度、背景因子、検査結果、治療内容に関し検討する。

【利用するカルテ情報・資料】
診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、画像検査、治療経過、予後

【研究期間】 倫理委員会承認後～2026年3月31日（予定）

【個人情報の取り扱い】
お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は当院においては研究終了後10年間保存いたします。

【問合せ先】
本研究に関する質問、お問い合わせがある場合や、御自身・ご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記までお問い合わせください。
御自身またはご家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年3月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

筑波大学附属病院 脳卒中科/筑波大学医学医療系 脳卒中予防治療学講座

担当医師：松丸 祐司、早川 幹人、奥根 祥
電話：029 (853) 3220（脳神経外科）